



## 同期ネットワークを充実させよう

霜越 隼人 (高32回)  
深田 孝宏 (高32回)

高32回生の校友会東京支部総会・懇親会出席者数は08年までは5名程度で寂しい限りだったのですが、様々な方策を採ることによって、09年は29名、10年13名と出席者数を飛躍的に伸ばすことに成功しました。40代以降の方々のご参考になればと考え、その方策についてレポートさせていただきます。

### 1. 2004年7月～

卒業して20数年経ち「同期会でもやろうか」と数人が集まるようになりましたが、手紙や電話では費用が嵩むので無料のメール同報サービスに登録しました (Yahoo Groups のメーリングサービス：以下ML)。しかしながら同期会出席者のメールアドレスしか集まりませんでした。

2008年夏に同窓会名簿を元に170通の暑中見舞いと25通の電子メールを送信し、MLと幹事のアドレスを案内しましたが、10数通の返信がありました。その返信のあった人をMLに登録し、近況等の情報交流を増やそうと努力を始めました。また、メール同報サービスの登録者リストを作成し広報しました。

### 2. 2008年9月～

「連絡先を知っている同期がいたら紹介して」と口コミ作戦をMLで展開しました。個別にネットワークを持っている人からの紹介で、新たに連絡頂いた方が増えたのはこの頃からです。付属中ネットワークも強力でした。

### 3. 2008年11月～

「未来展望セミナー」で母校訪問の折に「湯川跡地」や「幸来軒」といった色々な思い出の地をカメラに収め、東京で同期会を兼ねた上映会を開催したところ、連絡できる人数が増えたこともあり20名を超える参加となりました。1年に2回程は同期会を行い、その度に連絡先を集めるように参加者へ依頼したことが功を奏し、徐々に連絡のつく人が増えてきました。

同期会へは毎回卒業アルバムや高校当時の高高祭資料等を持ち寄り、話題の契機になるように工夫しています。汚れ対策で卒業アルバムは、カラーコピーにラミネート加工したものを作成しました。

### 4. 2009年6月～

インターネット検索によって同期の情報を見て連絡してもらえるように、使用料金不要のブログを開設して同期会の実施報告や高田の近況を載せました。誰でも参照できるブログなので、解像度の高い写真は掲載しないなど個人情報の取り扱いには配慮しています。

〈メーリングリスト登録者数推移〉

2004年登録者：19名

2005年登録者：5名 (計24名)

2006年登録者：6名 (計30名)

2007年登録者：1名 (計31名)

2008年登録者：37名 (計68名)

2009年登録者：12名 (計80名)

2010年登録者：xx名 (計xx名)